

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：5/25～5/29

### ・ 5/25(月)

ネット上での誹謗中傷、中国全人代と香港問題、黒川氏の賭け麻雀、家賃支援策などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、黒川氏の賭け麻雀については他の放送日との合わせての判断が必要と考えられるものでした。なお、黒川氏の賭け麻雀については検証者の所感を記しました。

### ・ 5/26(火)

黒川氏の処分、アビガンの承認が来月の見通し、ふるさと納税汚職などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、黒川氏の処分については放送法上問題と考えられる報じ方が見られました。また、黒川氏の処分については検証者の所感を記しました。

### ・ 5/27(水)

第二次補正予算案、コロナと雇用、スーパーシティ法、香港問題、9月入学、黒川検事長などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、スーパーシティ法については放送法に照らして問題と考えられる箇所が見られました。また、第二次補正予算案については検証者の所感を記しました。

### ・ 5/28(木)

黒川氏の処分、トランプ vs SNS、香港問題、五輪開催判断などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。

### ・ 5/29(金)

コロナ公文書、黒川氏の処分、賭け麻雀記者への新聞社の対応、トランプ大統領と SNS などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月25日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 松本哲哉（国際医療福祉大学教授）		
検証テーマ：ネット上での誹謗中傷、中国全人代と香港問題、黒川氏の賭け麻雀、家賃支援策		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言全面解除</li> <li>・第2波への備え</li> <li>・ネット上での誹謗中傷</li> <li>・NY タムズがコロナ死者 1000 人の氏名を公開</li> <li>・中国全人代と香港問題</li> <li>・大井競馬場から馬が逃走し車とぶつかる</li> <li>・黒川氏の賭け麻雀</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・家賃支援策</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット上での誹謗中傷：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>山本キャスターの「フジテレビの番組、テラスハウスの出演者で一昨日亡くなったプロレスラーの木村花さん、部屋から遺書とみられるメモが見つかりました。」とのコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレ「木村花さんは一昨日、東京都内の自宅で倒れているのが見つかりその後死亡しました、捜査関係者によりまずと木村さんの部屋から遺書とみられる手書きのメモが見つかり、自殺を伺わせる内容と周囲の人への感謝が書かれていたということです。木村さんはシェアハウスでの共同生活を伝えるフジテレビの番組テラスハウスに出演していましたが、SNS 上に番組内での言動を非難するような投稿が相次いでいたということです。自身の Instagram に一昨日、『愛している、楽しく長生きしてね。ごめんね』との投稿がされていました。</p> <p>この問題は国会でも議論になっています。与野党の国対委員長はネット上での誹謗中傷への対応について今後協議することで合意しました。」</p> <p>安住淳（立憲民主党国対委員長）「心無い誹謗中傷で人を傷つけるようなやり方は何らかのルール化は必要なので。」</p> <p>森山裕（自民党国対委員長）「与野党一緒になって、この問題についてどういう対応ができるのか。」</p> <p>ナレ「一方、菅官房長官は総務省が先月設置した研究会でネット上での誹謗中傷をめぐる発信者情報の開示のあり方に土江議論を始めているとした上で、これを踏まえ適切な対応を図っていくと述べています。」</p> <p>このトピックに当てられた時間は 110 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国全人代と香港問題：結論→特に問題なし</li> </ul>		

ナレーションによって「中国で開かれている全人代、全国人民代表大会では香港の国家の安全を守る法について審議されていますが、アメリカのオブライエン大統領補佐官は法律が導入された場合、制裁を課す可能性を示唆しました。中国外務省はこれに対し、香港問題にアメリカが指図する資格はない、と反発、中国の利益を損なうのであれば、断固反撃する、と警告しました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は35秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・黒川氏の賭け麻雀：結論→他の放送日との合わせての判断が必要

小川キャスターの「緊急事態宣言のさなかに賭け麻雀をしていたことが分かり、先週辞職した、東京高検の黒川元検事長ですが、この処分が甘すぎるとして、野党側は総理官邸の意向が働いたのではないかと、国会で追及しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"記者「森大臣、訓告は官邸からの指示なんですか。」

森まさこ（法相）「・・・・・・・・」

"ナレ「賭け麻雀で辞職した黒川元検事長の処分を周り疑問の声が上がっています。黒川市には国家公務員法の懲戒ではなく、法務省の内規ではなく訓告というより軽い処分がくだされました。この処分を誰が決めたのか、森大臣は先週の金曜日。」

森まさこ「内閣の上で決定されたものを私が検事総長に方に、こういった処分が相当であるのではないかとということをし上げ。」

ナレ「しかし、同じ日、安倍総理は。」

安倍総理「まず、処分にあたっては検事総長が事案の内容等諸般の事情を考慮して、適切に適正に処分を行ったものと承知をしております。まあそれを受けて、先日渡しは了承したということでもあります。」

ナレ「黒川氏の処分について自分は報告を受け、了承しただけだ、と強調しました。今日の国会で野党側は総理の答弁が森大臣と食い違っていると指摘しました。」

"勝部賢志（立憲民主党参院議員）「検事総長が処分をしたんだと、処分の中身を決めたんだとあたかも言わんが、というようなですね、そういう答弁になっているんです。」

森まさこ「総理の仰った内容と私の答弁に矛盾はないと考えております、その処分の主体は検事総長でございますので、私法務大臣からは調査結果とそれから意見を申し上げました。」

ナレ「また、森大臣は黒川氏の処分について内閣とも並行して協議を行ったと述べました。野党側は黒川氏の処分に総理官邸の意向が働いたのでは、と追及しました。」

"勝部賢志「内閣官邸からですね、訓告に押し切られたのではないですか、いかがですか。」

森まさこ「もちろん協議の中で様々な意見が出ましたけれど、様々な先例を参考したうえで今回の黒川氏の訓告の処分を決めたところでございます。」

"ナレ「安倍総理は今日の記者会見で、。」

安倍総理「法務省から検事総長に対し、調査結果に基づき、訓告が相当と考える旨を伝え、検事総長においても訓告が相当であると判断して処分をしたものと承知をしております。法務省の対応を了承したものであります。」

ナレ「黒川氏の処分について法務省の対応を了承した、と述べました。」

安住淳（立憲民主党国対委員長）「もしこの処分が、法務省は懲戒を相当だとしているにも関わらず、いやそんな

んじゃないだめだ、と軽く訓告で、っていうのを総理や官邸がやらせたとなれば、そんなこと時代劇でだって許される話じゃないじゃないですか。」

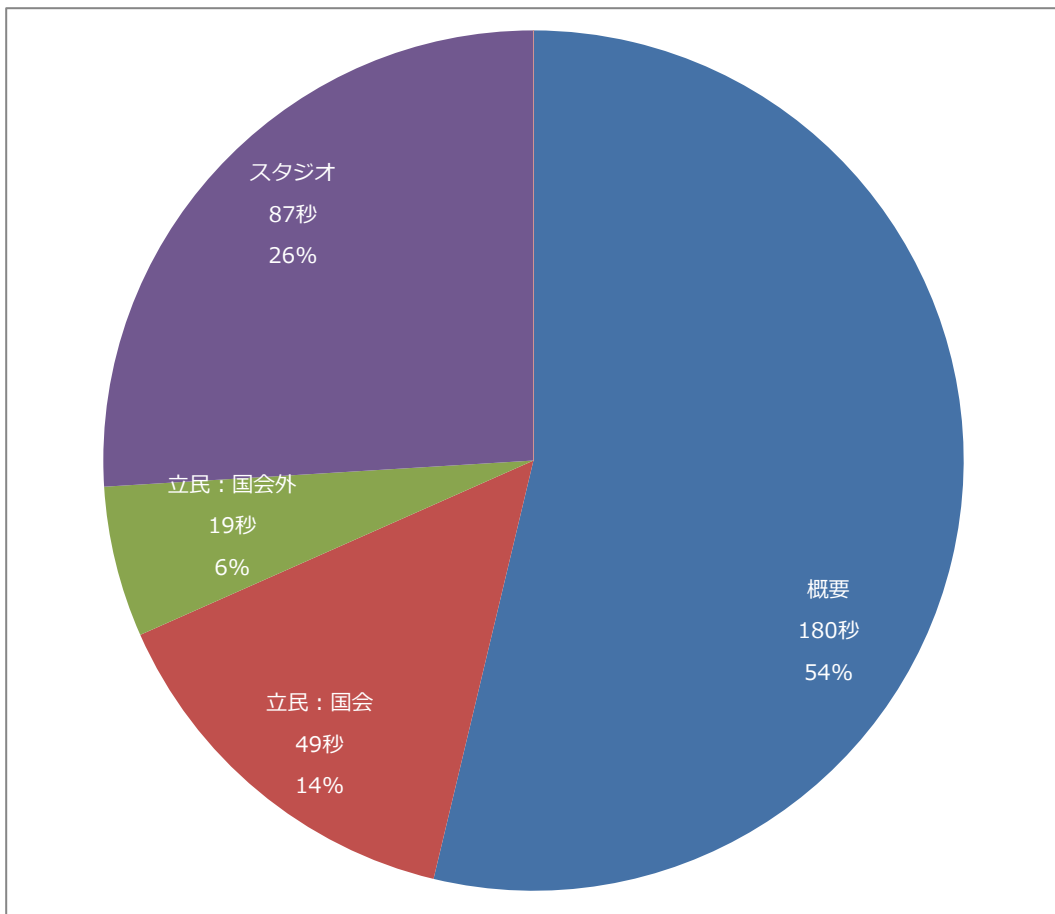
ナレ「野党側は黒川氏の処分に総理官邸関わった可能性があるとした上で、安倍総理の検事総長が適切に処分を行ったとする答弁は虚偽の可能性が極めて高い、と批判、集中審議を求めています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「そしてこの処分については毎日新聞がこの週末世論調査を行っているんですが、懲戒免職にするべきと答えた方が 52%と星さん、半数以上の方が疑問を覚えているわけですね。」

星浩「そうですね、世論の反発は強いですね。こうした中で私安倍総理は今回、二重の判断ミスをしているわけですね、一つはその最終的に甘い処分を認めたということですね。ええ、黒川さんはその常習的に賭け麻雀をしていたわけですから、訓告で許されるというのはちょっと世の中、世間の考え、野党もちろん反発するというのも当然のことですよ。もう一つは安倍総理先週の国会答弁でね検事総長が決めたんだと言ってしまったことですよ。なんか責任を回避したんじゃないかというふうにとられてもしょうがないということにして、まあそういう意味で二重のミスが続いている中で最終的にはこの訓告という処分をね、私はやり直して、懲戒処分をしない限り世論の反発は収まらないと思いますね。」"

このトピックに当てられた時間は 335 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



今回の報道では国会の議論は立憲民主党の質疑が取り上げられたのみであった。他の放送日との並べての評価が必要と考える。

・家賃支援策：結論→特に問題なし

"山本キャスターの「新型コロナウイルス対策で事業者に対する家賃支援策をめぐり、政府が国による負担額の上限をこれまで検討していた月 50 万円から 100 万円に引き上げたことが分かりました。半年で最大 600 万円が給付されます。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

安倍総理「店舗の家賃負担を軽減するため、最大 600 万円の給付金を新たに創設します。」

ナレ「政府が新たに創設する家賃支援策では月の家賃が 75 万円までの場合、その 3 分の 2 をそれを超える 225 万円までについてはその 3 分の 1 が半年間給付されます、これにより給付額は最大で 600 万円になります、対象は前の年の同じ月と比べて売上げが半減した事業者などです、家賃支援策をめぐって政府はこれまで中小企業の場合、月 50 万円を上限として家賃の 3 分の 2 の補助する方向で調整してきましたが、複数の店舗を営む事業者向けに支援の拡大を決めたものです、家賃支援策は明後日閣議決定される第二次補正予算案に盛り込まれ、政府与党関係者によりますと費用は 2 兆円程度になる見通しです。」

このトピックに当てられた時間は 85 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・黒川氏の賭け麻雀

スタジオでは小川キャスター「そしてこの処分については毎日新聞がこの週末世論調査を行っているんですが、懲戒免職にするべきと答えた方が 52%と星さん、半数以上の方が疑問を覚えているわけですね。」というコメントに対して星キャスターが「そうですね、世論の反発は強いですね。こうした中で私安倍総理は今回、二重の判断ミスをしているわけですね、一つはその最終的に甘い処分を認めたということですね。ええ、黒川さんはその常習的に賭け麻雀をしていたわけですから、訓告で許されるというのはちょっと世の中、世間の考え、野党ももちろん反発するというのも当然のことですよ。もう一つは安倍総理先週の国会答弁でね検事総長が決めたんだと言ってしまったことですよ。なんか責任を回避したんじゃないかというふうにとられてもしょうがないということにして、まあそういう意味で二重のミスが続いている中で最終的にはこの訓告という処分をね、私はやり直して、懲戒処分をしない限り世論の反発は収まらないと思いますね。」と答えていた。

法務省・検察庁の決定した処分に対して世論調査で疑問を覚えている人が多いからと言って、政治の力で処分を変えるというのは許されるのだろうか。それこそ、政治側が国民世論を扇動することで検察人事に政治介入をするという道を開くものになるのではなかろうか。また、星キャスターは「私はやり直して、懲戒処分をしない限り世論の反発は収まらないと思いますね。」とコメントしていたがそもそもここまで異常なまでに声高に叫んでいた「司法の独立」だとか「検察の独立」というのはどこに行ってしまったのだろうか。「世論の反発は収まらない」からといって、政治の力でやり直しと懲戒処分を行うということはそれこそ検察人事に対する恣意的な介入にほかならないのではなかろうか。むしろ司法の独立や検察の独立を訴えるのであれば、例え国民世論が納得せずとも、司法はそうしたものから超然と、そして粛々と処理すべきだということではなかろうか。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

また、野党側は総理官邸の意向が働いたのではないかと国会で追及しているが、今回の件で仮に重い処分が下っていたとしても、それはそれで「面子を潰された総理官邸の意向が働いて」などと言われていたのではなかろうか。

いずれにしても、黒川氏の検事総長の目はもうないのだから、ここで官邸が世論の反発というリスクを取ってまで軽い処分に持ち込む動機・メリットというのがあるのだろうか。

私にはそのあたりが正直に言って非常に疑問なのだが、黒川氏の処分が軽いのは官邸の意向が働いたからだ、などというのを本気で信じている人は安倍総理のことをよほどのお人好しだと思っているように感じる。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月26日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕                  福井トシ子（日本看護協会会長）</p>		
<p>検証テーマ：黒川氏の処分、アビガンの承認が来月の見通し、ふるさと納税汚職</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京で緊急宣言解除初日</li> <li>・看護師の戦い</li> <li>・黒川氏の処分</li> <li>・スペインでも都市封鎖解除</li> <li>・韓国でバスやタクシー利用者にマスク着用を義務化</li> <li>・トランプ氏服用のコロナ予備役の臨床治験を WHO が一時中止</li> <li>・ドイツが航空会社に1兆円を公的支援</li> <li>・モスクワで抗体検査の結果12.5%に抗体があることが判明</li> <li>・アビガンの承認が来月の見通し</li> <li>・インドの都市封鎖</li> <li>・ふるさと納税汚職</li> <li>・高速道路上の車で二人が不審死</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・東京のロードマップ改定</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川氏の処分：結論→問題あり</li> </ul> <p>小川キャスターの「さて、続いてのニュースに参ります。欠け麻雀の処分を決めたのは内閣なのか、検事総長なのか、それとも。」とのコメント、山本キャスターの「黒川前検事の処分をめぐって安倍総理と森大臣の答弁に矛盾が指摘される中、現職の検事総長がJNNの取材に応じ、処分の経緯を語りました。」"とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>石橋通宏（立憲民主党参院議員）「総理、内閣の任命権者として、総理、今回はね、懲戒にしない、という判断を総理がされた、違うんですか。」</p> <p>"ナレ「賭け麻雀で辞職した黒川前東京高検検事長、なぜ懲戒よりも軽い訓告処分だったのか、官邸の移行だったのではないかと今日も追及が続きました。軽い処分を誰が決めたのかについては、森法務大臣が先週。」</p> <p>森まさこ（法相）「内閣の上で決定されたものを私が、検事総長の方に、まあこういった処分が相当であるのではないかということを申し上げ。」</p> <p>ナレ「内閣で決めて検事総長に伝えた、という説明。しかし同日、安倍総理は。」"</p> <p>"安倍総理「ええ、まず処分にあたってはですね、検事総長が事案の内容等諸般の事情を考慮して、適切に適正に処分を行ったものと承知をしております。それを受けて、先日渡しは了承したということでございます。」</p>		

ナレ「検事総長が決めたと答弁。一体、内閣と検事総長、どちらが決めたのか。総理との答弁の食い違いが指摘された森法務大臣は今日、改めて。」

森まさこ「法務大臣である私、そして検事総長が訓告と相当と決定をした後に内閣に報告をし、内閣からその決定に異論はない旨を得たことを指します。」

"ナレ「内閣が決めたとしていた先週の答弁を事実上修正、自分と検事総長が決めたあと、内閣が了承したと述べました。安倍総理も。」

安倍総理「検事総長においても訓告が相当であると、いわば法務省において調査をし、この対応を私として了承したということでございます。」

ナレ「あくまで処分内容には関与していないことを強調しました。しかし、総理が名指しで処分を決めたとされた稲田検事総長は JNN の取材に応じ、こう話しました。」

"稲田伸夫（検事総長）「法務省側から訓告相当といわれ、懲戒ではないのだなと思った。法務省の見解を踏まえ、訓告と判断した。」

ナレ「法務省側から事前に訓告相当との見解が示されたと明らかにしたのです、では、その法務省内の調査は適切だったのでしょうか。」

川原隆司（法務省刑事局長）「先例を考慮するなどした上、国家公務員法上の懲戒処分ではなく訓告としたものであります。」

ナレ「先例を考慮して処分を決めたとした法務省。しかし国会ではこんな先例が示されました。」

"伊藤茂樹（防衛省報道官）「陸上自衛隊青野原駐屯地における賭博行為については7名のものに抵触5日、強引に他の隊員を誘った2名のものに対して抵触30日の処分をしております。」

ナレ「防衛省は3年前、同じ賭け麻雀で自衛官に対して最大30日間の懲戒処分としていたのです。」

"後藤祐一（国民民主党衆院魏委員）「停職処分になっているじゃないですか、この自衛隊の事例は先例として調べてなかったということですか。」

森まさこ「私のところには上がってきておりませんでした。」

ナレ「更にこんなやり取りも。」

藤野保史（共産党衆院議員）「東京高検がですね、自らの品位と誇りを胸に。」

"ナレ「品位と誇りを胸に、これは黒川氏がトップを務めていた東京高検の内部資料です。」

内部資料「利害関係者と一緒に遊戯またはゴルフをしてはならない、遊戯としては麻雀、パチンコ、ポーカーなどが該当します。」

ナレ「この資料ではマスコミ関係者は利害関係者に当たらないとしていますが、職務の公正さを疑われるような接触は厳に慎むべき、としています、黒川氏を巡っては安倍内閣は法解釈まで変更して定年の延長を閣議決定した経緯があります、その黒川氏の辞任について総理は。」

安倍総理「最終的には内閣として決定をいたしますので、総理大臣として当然責任がある。」

ナレ「自身に責任があるとの認識を示した安倍総理、しかしこのフレーズこれまでに数十回繰り返されてきました。」

安倍総理（甘利経済再生相辞任時）「閣僚の任命責任は内閣総理大臣たる私にあります。」

安倍総理（稲田防衛相辞任時）「閣僚の任命責任については、すべて、総理大臣たる私にあります。」



安倍総理（河井法相辞任時）「こうした結果となりその責任を痛感しております。」

ナレ「第二次安倍政権発足以来不祥事で九人の閣僚が辞任。その都度、安倍総理は任命責任は私にあるとして謝罪をしてきたのです。」

安倍総理（去年 11 月）「菅原・河井両大臣の辞任について）任命したものとしてその責任を痛感しております。行政を前に勤めていくことに全力を尽くすことで国民の皆様への責任を果たす考えであります。」 "

福山哲郎（立憲民主党幹事長）「壊れたテープレコーダーのようにあの、同じことを繰り返しますが、行政が遅滞なく進ようにするなんていうのはこの問題に対して責任をとったことにはなりません、アタリマエのことです。」

ナレ「そして、今日も。」

安倍総理「いずれにいたしましても（黒川氏を）任命した責任は私にあるわけでごさいます、いわばご批判は真摯に受け止めなければならない、このように考えております。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

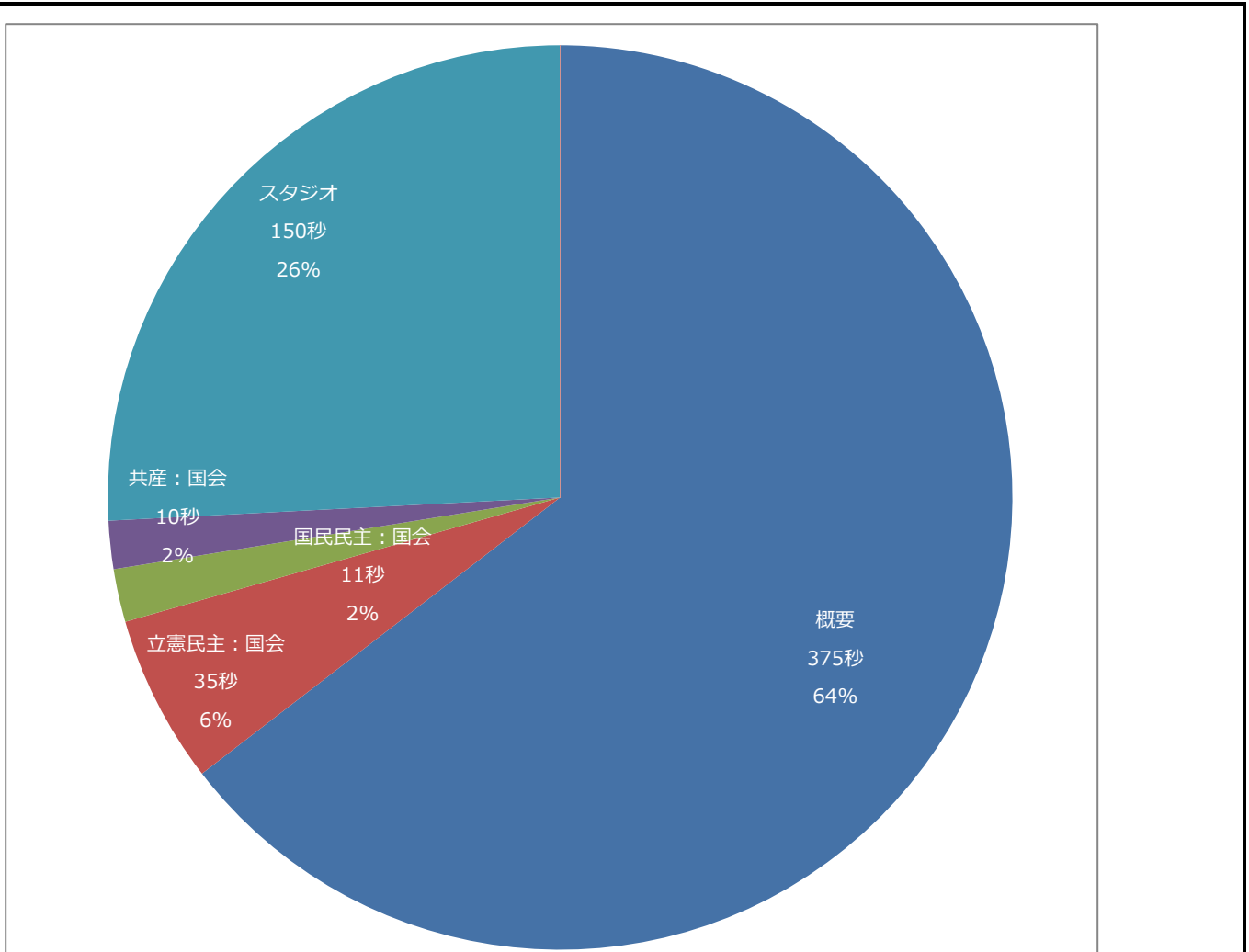
"小川彩佳「安倍総理これまでも任命責任という言葉の繰り返して来られましたけれども、この黒川検事長の問題でも責任は私にある、と。総理大臣の責任というのはどのような形で果たされるべきなのでしょう。」

星浩「ええ、中曽根さんから私、歴代 18 人の総理を取材してきましたですけども総理大臣がですね、責任という言葉に触れるというのは非常に重いことなんですね、例えば竹下さんはリクルート事件の責任をとってやめましたし、海部さんはですね政治改革が進まなかったという責任を取って辞めました。あの、閣僚の任命責任が総理大臣にあるのはこれはまた当然のこととして、責任についてはそのあるというだけではなくて、取るのか、果たすのかというのが問題だと思うんですね、で、結果的に責任を取るのかどうか、これはもう安倍総理自身が判断することですけども、例えば、責任を果たすということはできるんですね、例えばその森友文書の改ざんのときには麻生財務大臣の更迭するとかですね、今回の黒川さんの問題ではですね、森大臣を更迭するとか、それによって責任を果たす、ということができるんですけども、安倍総理は責任はあるということは言ってるんですけども、果たすということはまだやっていないと言えらると思いますね。」 "

"小川彩佳「その黒川氏なんですけれども、後任は林名古屋高検検事長と決まりました。で、その訓告処分については内閣と検事総長どちらがその主体となって決めたのかというところが焦点になっておりますけれども、今日、稲田検事総長が法務省の指示に従って、訓告した、法務省の指示があってそれに従って訓告したという、こうした証言をしましたよね。」

星浩「まあこのやり取り、ここ 2 日ぐらい続いていますけれども、仮にですね法務省から訓告でいいんじゃないかという案が回ってきたら、安倍総理はそんな甘い処分じゃダメだ、懲戒処分にするべきだと、そういう対応をするべきなんですけど、それはしなかったというところは私は重い責任があると思うんですね。私達この問題を連日取り上げているんですけど、麻雀の問題にとどまらなくてですね、今回はその検察庁法にない定年を強引に解釈を変更して実施したということに非常に大きな問題があるんですね、法の支配という民主主義の原則に触れる問題ですので、我々この問題非常に重視をしてですね、決して幕引きではなく更に取材を進めて問題点を指摘していきたいと思います。」 "

このトピックに当てられた時間は 581 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



各政党の国会質疑での取り上げ方については他の放送日との比較が必要と考える。

また、報道中では自衛隊での処分が先例としてとりあげられていたが、そもそも自衛隊は実際の実力を備えた国家の「暴力装置」である。暴力装置たる自衛隊での事例は検察の判断基準となるような先例とは言えない、という見方も当然あって然るべきであるが、そうした観点は示されることがなかった。

もともとの国家公務員法の解釈において「検察は特別な組織」と検察の特殊性を取り上げておきながら、今回は自衛隊の特殊性を軽視ないし無視して自衛隊での処分例が検察にも適用可能であるかのように報ずるのはいささか偏った報道姿勢であり。放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に照らしても問題であると言える。

・アビガンの承認が来月の見通し：結論→特に問題なし

ナレーションによって「新型コロナウイルスの治療薬として安倍総理が今月中の薬事承認を目指していたアビガンについて加藤厚労大臣は早くても来月以降になるとの見通しを示しました。専門家の評価委員会は科学的な評価は時期尚早としています。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 22 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ふるさと納税汚職：結論→特に問題なし

ナレーションによって「高知県で起きたふるさと納税をめぐる贈収賄で町の職員の男とその親族ら6人が逮捕された事件、賄賂として親族名義の口座に振り込まれたおよそ2500万円のうち、職員の男は自分の取り分を現金で受け取った可能性があることが分かりました。県警は不信な金の動きを隠すため、親族の口座を使ったと見て今日、6人を送検しました。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は31秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

検証者所感

・黒川氏の処分

星キャスターは「中曽根さんから私、歴代18人の総理を取材してきたんですけども総理大臣がですね、責任という言葉に触れるというのは非常に重いことなんですね、例えば竹下さんはリクルート事件の責任をとってやめましたし、海部さんはですね政治改革が進まなかったという責任を取って辞めました。あの、閣僚の任命責任が総理大臣にあるのはこれはまた当然のこととして、責任についてはそのあるというだけではなくて、取るのか、果たすのかというのが問題だと思うんですね、で、結果的に責任を取るのかどうか、これはもう安倍総理自身が判断することですけども、例えば、責任を果たすということはできるんですね、例えばその森友文書の改ざんのときには麻生財務大臣の更迭するとかですね、今回の黒川さんの問題ではですね、森大臣を更迭するとか、それによって責任を果たす、ということができるんですけども、安倍総理は責任はあるということは言ってるんですけども、果たすということはまだやっていないと言えると思いますね。」とコメントしていたが、この語り口では竹下さんも海部さんも随分と潔く辞めたような印象を受けるが、実際は竹下さんはリクルート後も粘り消費税法案を通したあとで選挙が近いという理由で辞めたという話であるし、海部さんは政治改革を進めようとして解散総選挙を示唆したが当時の最大派閥竹下派の実力者であった金丸信氏らが解散に賛同せず、これでは選挙を戦えない、ということで辞職したに過ぎない。

竹下さんのケースであれば、選挙が近くなければ、あるいは疑惑を抱えた政治家を総裁に据えても勝てるくらいに野党が弱ければ辞職しなかっただろうし、海部さんのケースであれば、海部さんの出身派閥が弱小派閥ではなく大派閥であれば解散総選挙を断行できた可能性もある。

そう考えると、安倍総理には本人が辞めたいと思う以外には政治力学的には辞める理由が何一つないということがわかるのではないだろうか。

星キャスターの昔話にはいささか思い出補正で美化されているようなきらいがあるように見受けられる。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月27日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：第二次補正予算案、コロナと雇用、スーパーシティ法、香港問題、9月入学、黒川検事長		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京アニ事件発生方10ヶ月半で容疑者を逮捕</li> <li>・新型コロナ「第2波」の懸念</li> <li>・第二次補正予算案</li> <li>・コロナと雇用</li> <li>・スーパーシティ法</li> <li>・香港問題</li> <li>・9月入学</li> <li>・黒川検事長</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・木村花さんの死を受けフジテレビがテラスハウスの制作中止を発表</li> <li>・JALが来年度採用を中断</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次補正予算案： <ul style="list-style-type: none"> <li>二次補正予算案について以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</li> </ul> </li> </ul> <p>"ナレ「今日、政府は。」</p> <p>安倍総理「GDPの4割に上る世界最大の対策によってこの100年に一度の危機から日本経済を守りにぬいて参ります。」</p> <p>ナレ「新型コロナウイルスの感染拡大を受けた経済対策として第二次補正予算案を閣議決定しました。民間の投資などを併せた事業規模の総額は一次予算規模とほぼ同じ水準となる117兆1000億円程度、そのうち、国が一般会計から新たに直接支出する部分、いわゆる真水と呼ばれる部分はおよそ32兆円で財源は全て国債で賄うとしています、主な制作を見てみると、治療薬の開発や検査体制の拡充、また医療従事者への最大20万円の給付など、医療体制の強化におよそ2兆9900億円を計上しています。更に、。」</p> <p>麻生太郎（財務相）「人件費と家賃、という固定費への支援を抜本的に強化をいたします。」</p> <p>ナレ「事業者の家賃負担軽減のために半年で最大600万円を給付する制度におよそ2兆200億円を計上、雇用対策では雇用調整助成金の1日あたりの上限額を8330円から15000円に引き上げるとともに休業手当を受け取れない労働者に直接月額で33万円を給付する制度を創設するとしています。また、感染症の影響が長期化した場合、用途を限定しない予備費として10兆円を積み増しました。」</p> <p>"安倍総理「空前絶後の規模、世界最大の対策によって日本経済を守り抜きます。」</p> <p>ナレ「一昨日、経済対策の規模を強調した安倍総理、ただ問題となっているのは支援のスピードです。大阪でナ</p>		

イトクラブのホステスとして働くみきさん、店は4月はじめから休業状態になっていると言います。」

記者「二ヶ月間じゃあ無収入。」

みきさん「そうですね、何もしていないですね、無収入です。」

ナレ「みきさんは収入が落ちた個人事業者に最大100万円が支給される持続化給付金を申請しました。」

みきさん「5月1日のえと、申請完了が9時14分。受付が始まった5月1日、まさきに申請したみきさん、ホームページには通常2週間程度で入金される、と案内されています。しかし。」

みきさん「不備メールが5月の24日に届いたんです。」

ナレ「さん週間以上が経ち届いたメールは申請情報に不備があったというものでした。再度申請し今も入金を待っている状態です、こうした状態はみきさんだけではありません、SNS上には」

"ツイート「なんで5月1日に申請した人が不備メールも入金もないのか。」

ツイート「申請1日組未入金。」

ナレ「共通しているのは初日の1日に申請をしたという人たちです。静岡県内にある工場、住宅や店舗の壁などに使う素材を加工販売しているこちらの会社でも今月1日に持続化給付金の申請を行いました。」

工場を経営する男性「先方（取引先）の工程がまだいつ始まるか決まっていないので出荷待ちという形で止まっている製品になりますね。」

ナレ「出荷される予定だった製品は工場の片隅に置かれたままに。新型コロナウイルスn影響で2月ころから売上が激減、家賃などの支払いも滞ってしまいました。」

記者「電気は全く？」

工場を経営する男性「4月30日まではついていたんですよ、で、5月1日に止まって。」

ナレ「電気も止まり、仕事が成り立たない状況。すぐる思いで持続化給付金を申請しましたが、目安としていた二週間を過ぎても一向に入金されない日が続きました。」

工場を経営する男性「その書類不備とかなんにもないのに、何故か今日まで伸ばされて、ちょっとおやっていることが頓珍漢というか。」

ナレ「従業員の給料にも給付金を当てようと考えていましたが。給料日の25日になっても入金がなく、支払いを待ってもらったのだと言います。」

工場を経営する男性「従業員にも家賃とかありますからなかなかもう辛いですけどね、遅れるというのは、まあ総理とか大臣が思っているスピード感と現場が思っているスピード感がぜんぜん違うと。」

"ナレ「一昨日までに120万件以上の申請があり、そのうち46万件6000億円が給付されたという持続化給付金、それにも関わらず、なぜ真っ先に申請した人に給付が届いていないのでしょうか。」

西村康稔（経済再生担当相）「私のところにもですね、5月1日に申請をしたけれどもまだ届かないんだ、という声があります。どうも1日に申請が殺到したがゆえにですね少し混乱があったようでありまして。」

ナレ「初日に申請が殺到し、混乱が起きたというのです。この会社には今日になってようやく持続化給付金の入金がありました。」

記者「金額は」

工場を経営する男性「200万ですね。」

記者「200万円の前の数字が1455円」

工場を経営する男性「そうですね。ギリギリでしたね。」

ナレ「入金されたのは 200 万円、それでも滞納していた支払いを済ますと手元に残ったのはわずか 13 万円ほどです。給付金が入っても厳しい状況が続くことに変わりはありません。」

工場を経営する男性「営業にね、東京に行っても打ち合わせができないじゃないですか、今の段階で新しい仕事ってというのが今なんにもお話をいただけていない状況なので、非常にこの先苦しいですね。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「さて、第二次補正予算の中身というのがでてきました。改めて予算規模というのをここで確認しておきます山本さん v。」

山本恵里伽「はい、新型コロナウイルスの緊急経済対策として先月末に成立した第一次補正予算に続いて、今日、第二次補正予算案が閣議決定されました。中身を見ていきますと金融機関からの融資や波及効果として期待されている民間の支出分などを含んだ事業規模は 117.1 兆円ということでどちらも同じ規模になっているんです、ただ、国が直接一般会計から支出するいわゆる真水に関しては 6.2 兆円増えまして、31.9 兆円となりました。この第 1 次、第 2 次をあわせた事業規模というのは GDP の 4 割に当たりまして、安倍総理は空前絶後の規模、世界最大の対策としています。」

小川彩佳「うーん、空前絶後という表現で安倍総理はこの第二次補正を語っているんですけども、この真水はまあ増えたとは言えるのですが、星さん、これはどうぞ覧になりますか。」

"星浩「ちょっとからくりがありまして、真水今回のその 31.9 兆円の中には 10 兆円の予備費がありましてね、これを除くとまあ 1 次補正とあまり変わらない、というむしろ下回るくらいになってしまうんですね、ただ私 10 兆円の予備費というのはどうかなという気がするんですね、やっぱり予算っていうのは基本的にその国会のチェックを受けるというのが大原則、これ財政民主主義というのですが、それに触れて、こう使い道を特定しない 10 兆円ものお金をお国の、政府の裁量に任せるというのもやや問題があるかなという気がしますね。」

小川彩佳「10 兆円というのは結構なボリューム感ですからね、そして中身を見ますと医療従事者の方々への給付金だったりですか家賃補助などが盛り込まれましたけれども 1 次補正で盛り込まれていた一人あたり 10 万円の給付、これも多くの方に届いていないという現状がある中で速やかに届いていくのかなという疑問も浮かび上がってきますね。」

星浩「そうですね、まあ 30 兆円前後の補正が重ねられて、実は今年の本予算というのが 100 兆円を超えるものがありまして、言ってみればその大きいピザが 3 枚用意されているんですけども国民に届いていない、ということですね、理由は 2 つありまして、一つはこの補正自体が使い勝手があんまり良くなって手続きが非常に複雑なので中々届かないというのが一つあります。それから国民が何に困っているのか一番良く知っているのは地方自治体、知事さんとか市町村長さんですよ、この市町村長さん、自治体の人に任せればいいのに、国のほうがどんどんこう口をだすものですから、自治体の方に本当はどんとお金を出してやってもらうという方式に改めない、その国と地方のあり方を見直していかないとスムーズには進んでいかないというふうに思いますね。」

小川彩佳「その根幹を見直さないと同じことが繰り返されてしまうというわけですね。」

このトピックに当てられた時間は 622 秒だった。

・コロナと雇用：結論→特に問題なし

小川キャスターの「そして急いでいただきたいというのは雇用情勢も5月に入って急速に悪化している、こういった現状があります。」および山本キャスターの「厚生労働省によりますと新型コロナ関連の解雇や雇い止めはわかっているだけで3月が835人、4月が2614人、そして今月5月26日時点ですでに10364人にのぼっています。中でも特に厳しい状況に追いやられているのは非正規雇用の外国人労働者など立場の弱い人たちです。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"神戸紅（労働組合「ユニオンみえ」書記長）「それぞれの家庭や家族、またその労働者の人生をかえりみない形での「コロナ切り」というのは決して許されるものではありません。」

ナレ「東海地方にある大手電気機器メーカーの工場、3月末で80人ほどが派遣切りにあったことに労働組合が抗議の声を上げていました。メーカー側はもともと精算を減らすs計画だったとしています、組合側は新型コロナの影響と見ています。」

広岡法浄（ユニオンみえ執行委員長）「非正規差別、外国人差別が横行していると言っても過言ではありません。」

ナレ「4歳の息子とともに参加していたペルー国籍のサッサさんも派遣元の会社から突然雇い止めに言い渡されました。四日市市内の公営団地。サッサさんは夫と幼稚園児の息子とこの団地で暮らしています。」

記者「妊娠何ヶ月ですか。」

サッサさん（31歳）「5ヶ月。厳しくなると思います。」

ナレ「妊娠5ヶ月のサッサさん、会社側に妊娠を告げたことが雇い止めにつながったと訴えます。」

サッサさん「一番心配なのは我が家の経済状況です。夫の収入だけでは足りず食べていけません。子供も二人に増えるので1人だけの収入ではやっていけないです。」

ナレ「雇い止めは妊娠が理由ではないとする派遣会社側、組合を介しての交渉が続いています。」

"神戸紅「コロナ関係、相談着ていますよ。3月から増え始めて、今の5月に入ってもう600件近くは来ていると思いますね。」

ナレ「サッサさんが駆け込んだ労働組合、新型コロナ関連の相談は5月に入って更に増え続けていてその7割から8割は外国人労働者からと言います。」

神戸紅「やっぱり一番多いのは私、コロナ切りって読んでおりますけれども契約期間の途中で首を切られたっていう相談が多いですかね。」

ナレ「これまでに、こんな相談もありました。」

"パキボットさん（フィリピン国籍31歳）「契約終了って担当者に言われたね。あの、助けてほしいです。」

ナレ「三重県内の自動車部品メーカーの派遣社員だったフィリピン国籍のパキボットさん。新型コロナの感染拡大で中国からの部品調達が滞ったため、工場の精算が現象、派遣会社から雇い止めの通知書を手渡されました。」

パキボットさん「派遣会社の人に車の中で言われて署名してしまいました。工場に向かうギリギリの時間だったので。」

ナレ「漢字が読めないパキボットさんには通知書の意味が理解できず、サインしてしまったのです。」

"神戸紅「まともな説明もされずにですね、ただただもういらなくなったというのはあまりにもひどい。結局は派遣の外国人労働者を調整弁としてしか見ていないじゃないかっていうのはありますね。」

ナレ「パキボットさんは5人家族、3月末に3人目の子供が生まれたばかりです。」

パキボットさんの妻（32）「心配したよ、色々考えた。どうしようかな、赤ちゃんはすごくいっぱいおむつ使う

よ。」

ナレ「家賃や食費に加え、ミルク代やおむつ代も。貯金を切り崩す生活でした。」

パキポットさんの妻「いちばん大事なのはこの子のミルク、いらぬものは今は買いません。もう、我慢しかないんじゃない、どうしようもないから。」

ナレ「この日、パキポットさんの相談を受けた労働組合は雇い止めの撤回を求め、派遣会社との交渉に望みました。」 "

"神戸紅「こちらですか、これをあなたの方から彼に渡した、これは間違いない。」

派遣会社「はい。」

神戸紅「このとき英語で説明しました。」

派遣会社「英語では説明してないです。」

神戸紅「ご自身は何を書かされたか全くわからないし、こういうのはまずいでしょ。」

ナレ「交渉の結果、派遣会社との雇用関係は維持し、育児手当などを補償してもらうことで合意しました。しかし、未だ新たな派遣先は決まっています。」 "

"安倍総理「即戦力となる外国人を幅広く受け入れていく。」

ナレ「人手不足が深刻化する中、外国人労働者の受入を拡大してきた政府、しかし新型コロナを理由に外国人労働者を安易に切っていく現実があると組合の担当者は指摘します。」 "

神戸紅「まるでこう、そこに人の営みっていうふうには考えないっていうか、で、家族があって人生があるという発想がなくて、今必要がある必要がないっていう会社にとっての理屈で優先して選別して、まあいわば身勝手に利用してきた依存してきたにもかかわらずこういう機会、まあ真っ先に切っていくというのはやっぱりいかなものかなっていうか、そういう立場の人達の弱さというのが改めてこのコロナウィルスの蔓延によって非常にこう浮き彫りになった。」

VTR を受けてスタジオでは小川キャスターが「こうした外国人労働者の方々を含む、派遣で働く方の中にはこの5月末に雇い止めの期限、通告期限を迎えるという方が多くいらっしゃるんですね。さらに大量の雇い止めが発生する恐れがありまして、これ、5月機器と呼ばれています、今目の前にこの危機が迫っているという状況です。」とコメントしていた。

このトピックに当てられた時間は479秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・スーパーシティ法：結論→問題あり

小川キャスターの「さて、代わりまして、今日国会で成立したある法律について、スーパーシティ法、こちらをご存知でしょうか。」というコメント、山本の「最先端の技術を生かした未来の都市づくりを可能にする、という法律なのですが、便利さの一方で超監視社会に繋がる懸念も出ています。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"山東議長「よって本案は可決されました。」

ナレ「今日、成立した改正国家戦略特区法、いわゆるスーパーシティ法、人工知能やビッグデータなどを活用した最先端都市づくりを目指す、スーパーシティ高層が盛り込まれています、例えば。」

内閣府作成 VTR「財布入りません、すべての支払が顔認証で。ポイントだって貯められるし自動的に家計簿がつ



けられて楽ですよ、いつでも健康でいられるよう管理してくれ、体調の変化も通知してもらえるので、病気の予防に役立ちます。」

ナレ「スーパーシティ構想では行政や企業などが持つ様々なデータを収集、整理し先端技術と組み合わせることで車の自動運転オンライン診療などのサービスを利用できる住みよいまちづくりを目指すとしています、政府はスーパーシティ構想を進めたい自治体などを公募し年内にも決定する予定ですが、すでに 54 の自治体や団体などからアイデアの応募がありました。」 "

清水忠史（共産党衆院議員）「コロナ問題の渦中に審議をする必要はありません。」

"ナレ「コロナに集中すべきだとの指摘に法案を担当する北村大臣は。」

北村誠吾（規制改革相）「コロナとともに新しい時代の生き方、生活、あるいは産業、あるいは国際社会との結びつき、スーパーシティというものの果たす役割というのが非常に重要である。」

ナレ「コロナのときだからこそ重要性を増していると強調しました。今回のスーパーシティ法、衆議院で一日、参議院で 2 日の実質 3 日間の審議で採血されました。これで審議は十分と言えるのでしょうか。」 "

亀井亜紀子（立憲民主党衆院議員）「事業者からで一たていきょうをもとめられたばあい、プライバシーが侵害されないか、住民の合意形成の家庭が不透明だからです。」

ナレ「野党が指摘するのは個人のプライバシーの問題や自衛隊が対象地域を決めるときに住民からどのように合意を得るのか、などということ。」

"福島みずほ（社民党党首）「いちいち全員から同意を取るんですか、同意をしなかった人間はその町の中でどういう扱いになるんですか。」

村上敬亮（内閣府地方創生推進事務局審議官）「いろんなケースが有ると重みアスノで、一概に申し上げられませんが。」

福島みずほ「未成年者の同意というのはどうやって取るんですか。」

村上敬亮「今回ちょっとまだ勉強してきてございませんので。」

福島みずほ「検察庁法の延長の基準じゃないけれど、その基準をちゃんと教えてもらわない限り法律の成立できないですよ。」 "

"ナレ「結局、住民の合意をどのように形成するかについては具体的に条文には明記されませんでした。専門家は企業の論理が優先されることを懸念します。」

内田聖子（NPO アジア太平洋資料センター共同代表）「あらかじめ企業中心にですね、そういうプランが決まっていて、最後に合意が取られると、これは根本的な欠陥だと思いますけれど、あのそうした意味で住民合意というのが非常に形式的に取られてしまうおそれがある。」 "

"ナレ「なぜ、政府はスーパーシティ法の成立を急ぐのでしょうか。」

安倍総理「スーパーシティ構想について基本的なコンセプトを層的に取りまとめるなど印鑑議員の皆さんには力強く取り組んでいただきますようによろしく願いいたします。」

ナレ「竹中平蔵氏を座長とする有識者懇談会が去年取りまとめた最終報告書では。」

最終報告書「中国やドバイなどで革新的な取り組みが先行しつつある。日本で世界に先駆けてスーパーシティを実現し、世界にモデルを示す為早急に取り組む必要がある。」

ナレ「背景にあるのが海外での取り組みです、中国杭州市では。」

アリババクラウド HP 「ビデオ映像を解析し異常をいち早く検知できます。追尾運転と違法駐車を区別することもできます。」

ナレ「4000代以上のライブカメラの情報を AI が分析、道路上で以上を認められた場合は自動的に警察に通報されます。また、交通状況に応じて信号機の点滅を自動で調整することも可能で、渋滞の緩和につながったと言います。」

"

"北村誠吾「国際的にもこれらの最先端技術を取り込んだまちづくりが急速に進みつつあり、世界的な競争に取り残されてしまいかねません。」

ナレ「政府は今後対象となる自治体を選ぶ予定ですが、専門家は。」 "

内田聖子「どういう基準でこの地域が選ばれたのか、そのプロセスをですねきちんと国民にわかりやすく、議事録も含めて公開されること、でそれを私達も求めていくということが重要だと思いますね。」

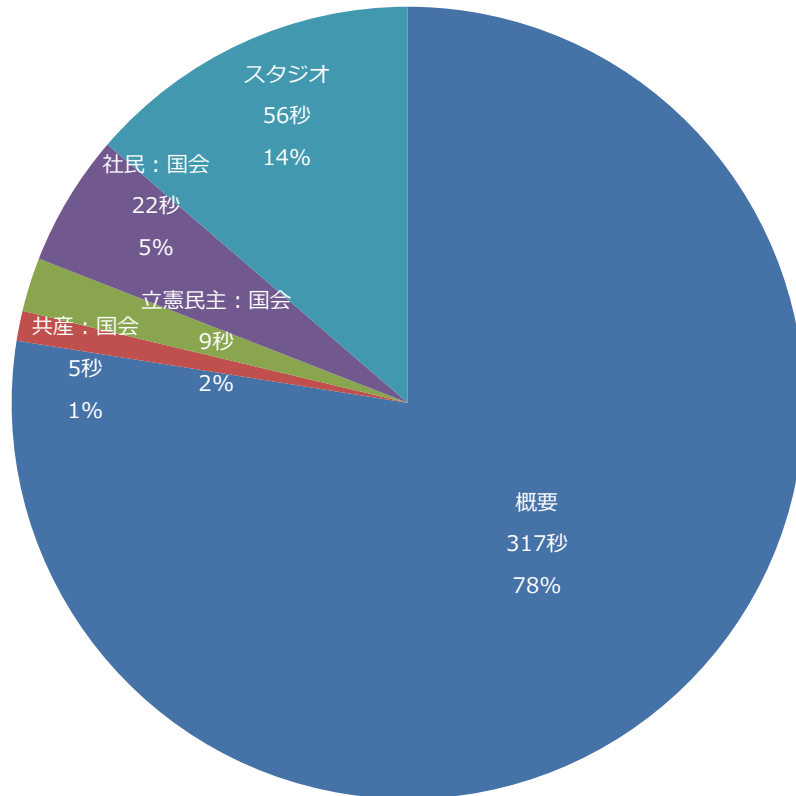
VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「まあ IT 環境を巡っては今回コロナによって給付金が速やかに届かなかつたりですとか、感染者数などのデータが効率的に統合されなかつたりですとか、本当に脆弱なんだということが分かりましたし、星さん、これを急ピッチで整備していかなければならないというまあ状況ははっきり浮き彫りになったとは言えますけれどね。」

星浩「まあ AI 時代ですからね、最先端の都市づくりというのは個人情報を守りながら進めていく必要はあるんですね、ただ一方で今回明るみに出たのは 10 万円給付でマイナンバーとその住民基本台帳と銀行口座が全然リンクしていないという相当お粗末な状況がわかったので、最先端都市づくりというのを目指すのは結構なんですけど、その一方でね、その足元の IT 環境というのを整備するのがやっぱり最優先じゃないかなという気がしますね。」

小川彩佳「そうですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 409 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



国会での質疑の取り上げ方は他の放送日との合わせての判断が必要と考えられるものであった。

VTR 中では NPO アジア太平洋資料センター共同代表の内田聖子氏の見解が「専門家の見解」として取り上げられていた。しかし、VTR 中ではなにの専門家は全く明言されていなかった。また、この内田聖子氏、Google で検索しても同姓同名の小説家はヒットするものの NPO の内田氏がなにかしかの専門家であるという情報は上がってこず、どちらかというと活動家の類のように見受けられる。

活動家なら活動家と紹介すればよいのだが、それを「専門家」などと公共の電波で権威付けをした上で意見を取り上げるとするのは明らかにその意見に肩入れをした報じ方であり放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」に照らして問題であると言える。加えて、本来、専門家と呼べるような専門を持っていない者を専門家として取り上げるとするのは、専門家でない人間を専門家として報じているのだから同三号「報道は事実をまげないですること」に照らしても問題であると言える。

・香港問題：結論→特に問題なし

小川キャスターの「香港での反政府活動の取締を可能にする法律の導入が中国の全人代で明日採択される見通しです、香港では抗議デモが行われまして、300 人以上が逮捕されました。」というコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「香港の中心部、抗議デモに集まった人々に向けて警官隊が催涙銃を発砲します。銃には低致死性の文字が。違法な集会に参加した疑いなどで 27 日だけで 300 人以上が逮捕されました。香港の議会に当たる立法会で中国

の国家への侮辱行為に刑事罰を課す国家条例の審議がおよそ1年ぶりに再開したのに合わせて呼びかけられたデモには民主派団体のメンバー周庭さんも参加していたと言います。」

周庭「デモの参加者はすごくなんか平和的をやっているんですけども、警察側が一方的にずっと発砲したり拘束したりということがありましたね。」

ナレ「中国北京で行われている全人代では香港での反政府活動の取締を目的とする国家安全法が審議されていて、明日の最終日に法律を導入する方針が採択する見通しです。」

周庭「香港がどんどん香港ではなくなるということになってしまって、一国二制度も本当にほぼ一国一制度になってしまって、香港人としては納得できない。」

"ナレ「こうした中、アメリカのトランプ大統領は中国が香港への国家安全法の導入を強行すれば、今週中にも強力な制裁措置を取ることを発表することを示唆しました。」

トランプ大統領「(制裁について)今週中には発表できるだろう。とても強力なものになると思う。」"

"ナレ「これに対し、中国は。」

趙立堅(中国外務省報道官)「ほんkん問題への外国からの誤った干渉には必要な対抗措置を講じる。」

ナレ「対抗措置を取る姿勢を示していて、香港を巡る米中の対立も激しさを増しそうです。」"小川彩佳「香港での反政府活動の取締を可能にする法律の導入が中国の全人代で明日採択される見通しです、香港では抗議デモが行われまして、300人以上が逮捕されました。」

ナレ「香港の中心部、抗議デモに集まった人々に向けて警官隊が催涙銃を発砲します。銃には低致死性の文字が。違法な集会に参加した疑いなどで27日だけで300人以上が逮捕されました。香港の議会に当たる立法会で中国の国家への侮辱行為に刑事罰を課す国家条例の審議がおよそ1年ぶりに再開したのに合わせて呼びかけられたデモには民主派団体のメンバー周庭さんも参加していたと言います。」

周庭「デモの参加者はすごくなんか平和的をやっているんですけども、警察側が一方的にずっと発砲したり拘束したりということがありましたね。」

ナレ「中国北京で行われている全人代では香港での反政府活動の取締を目的とする国家安全法が審議されていて、明日の最終日に法律を導入する方針が採択する見通しです。」

周庭「香港がどんどん香港ではなくなるということになってしまって、一国二制度も本当にほぼ一国一制度になってしまって、香港人としては納得できない。」

"ナレ「こうした中、アメリカのトランプ大統領は中国が香港への国家安全法の導入を強行すれば、今週中にも強力な制裁措置を取ることを発表することを示唆しました。」

トランプ大統領「(制裁について)今週中には発表できるだろう。とても強力なものになると思う。」"

"ナレ「これに対し、中国は。」

趙立堅(中国外務省報道官)「香港問題への外国からの誤った干渉には必要な対抗措置を講じる。」

ナレ「対抗措置を取る姿勢を示していて、香港を巡る米中の対立も激しさを増しそうです。」"

このトピックに当てられた時間は152秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・9月入学：結論→特に問題なし

山本キャスターの「政府が導入を検討する9月入学について自民公明の両党が直近の導入は見送るべきとする

提言の骨子案を提示しました。」とのコメントを受けてナレーションによって「自民党の作業チームの会合では9月入学について今年度、来年度など、直近の導入を見送るべきと明記した提言の原案が示されました。出席した議員などからは法改正や人の体制の問題に決着をつけるのは難しいとして直近での9月入学の導入は見送るべきとの意見が大勢を占めましたが、異論もでたということです。一方、公明党の作業チームでも新型コロナウイルス対策と9月入学の議論は切り離すべきとする骨子案が示され、時間をかけた十分な議論が必要だとしています。両党は近く、最終的な提言をまとめ、政府に提出する予定です。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は67秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・黒川前検事長：結論→特に問題なし

黒川氏について以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"ナレ「賭け麻雀問題で辞職した東京高検の黒川前検事長、懲戒より軽い訓告となった件について稲田伸夫検事総長は昨日、こう答えました。」

稲田伸夫（検事総長）「法務省側から訓告相当と言われ、懲戒ではないのだな、と思った。」

ナレ「今日の国会で野党はこの発言を取り上げ、検事総長は黒川氏の処分について決めていないのではないかと追及しました。」

"安住淳（立憲民主党国対委員長）「肝心の稲田検事総長は、マスコミの取材に対しては、いや私じゃない、上からだ。一体内閣なのか法務省なのか、検事総長なのか、処分を誰が決めたのか。」

ナレ「野党側は安倍総理が出席する予算委員会の集中審議などを要求し官邸の関与について追求する構えです。」

このトピックに当てられた時間は57秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

- ・第二次補正予算案

スタジオで星キャスターが「国民が何に困っているのか一番良く知っているのは地方自治体、知事さんとか市町村長さんですよ、この市町村長さん、自治体の人に任せればいいのに、国のほうがどんどんこう口をだすものですから、自治体の方に本当はどーんとお金を出してやってもらうという方式に改めないと、その国と地方のあり方を見直していかないとスムーズには進んでいかないというふうに思いますね。」と発言していたが、国に対して金を出すが口は出すな、というのは納税者をあまりにも軽視した発言ではなからうか。

国・政府に富を生み出す能力などなく、所詮は国民が生み出した富を税金という形で吸い上げて配っているだけなのだから、政府には納税者に対する説明責任がある。

この説明責任を全うするためには、金を出した先で適切に使われているのか、という監視・マネジメントが必要不可欠であるが、最初から「金を出すが口は出すな」というのでは、その監視・マネジメントが十分に行われない。

もし、国が口を出すというあり方を見直すのであれば、国に金を集めさせるのではなく、地方自治体が金を集

めて使う、という在り方に変えていかねばならないだろう。

また、星キャスターは財政民主主義にも言及していたが、ここまで財政規律が崩壊した国において財政民主主義など存在するのだろうか、甚だ疑問である。財政民主主義で予算の使途は国会ひいては有権者のチェックを受けるとは言っても、予算の大部分を国債が占めるのであれば結局予算の負担をする人間のチェックなど全く入りようがなく、その時点で財政民主主義というのは最初から崩壊していると言えはしないだろうか。

つまるところ、財政民主主義というのは国債発行に頼ることなく、単年度単年度で完結する予算が組まれているからこそ、その時点での有権者を代表する国会議員・国会によるチェックを通じて有権者のチェックが機能すると見なすことが可能だという話であって、財政規律が崩壊している状況ではいくら現在の有権者の代表がチェックをしたと言っても、実際に予算の財源を負担する将来世代のチェックが全く機能していない以上、財政規律が崩壊した瞬間に財政民主主義というフィクションも崩壊するのである。

星キャスターは「財政民主主義」に言及するが、そもそもの財源全てが国債発行である今回の補正予算では財政民主主義云々を議論する出発点にすら立てていない、ということを確認すべきであろう。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月28日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：黒川氏の処分、トランプ vs SNS、香港問題、五輪開催判断		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【速報】第2波警戒</li> <li>・新しい日常</li> <li>・韓国で感染拡大を受け外出自粛へ</li> <li>・「下水」が示す流行の兆し</li> <li>・妊婦の受診制限</li> <li>・黒川氏の処分</li> <li>・日産が6712億円赤字転落</li> <li>・トランプ vs SNS</li> <li>・川崎児童ら20人殺傷事件から今日で一年</li> <li>・香港問題</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・五輪開催判断</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川氏の処分：結論→他の放送日との合わせての判断が必要 山本キャスターの「次のニュースです、賭け麻雀で辞職した黒川前検事長について、懲戒よりも軽い訓告とする処分を誰が決めたのか、今日の国会でも野党が決定のプロセスが不透明だと追及しました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</li> <li>ナレ「黒川前検事長の処分をめぐり、今日野党議員が引き合いに出したのが。」</li> <li>真山勇一（立憲民主党参院議員）「NEWSの手越祐也さん32歳、緊急事態宣言の間に一緒に女性たちと六本木で飲み会をやったと。」</li> <li>ナレ「緊急事態宣言の間に飲み会を開いて活動自粛となったNEWSの手越祐也さん。」</li> <li>真山勇一「タレントさんが仕事これ全部奪われるわけです。黒川さん、失職しているかもしれないが、やっぱり訓告で済んでいるのはやっぱりおかしくないですか。」</li> <li>川原隆司（法務省刑事局長）「私どもからすると本件の事案に参考になるとはちょっと考えがたいところがございます。」</li> <li>ナレ「黒川氏が懲戒より軽い訓告処分になったのはどのようなプロセスで決められたのでしょうか。」</li> <li>鈴木宗男（日本維新の会参院議員）「法務大臣、これ与党の理事さんも野党の理事さんもですね、ぜひともですね、国民に真実を明らかにすることが大事なんです、手続きの中で不透明な今みたいな言い振りをするから誤解を生</li> </ul>		

むっちゅうことなんです。」

"ナレ「軽い処分になったのは官邸の関与があったのではないかの疑惑が持たれています。森法務大臣は先週、最終的には内閣が決めたと答弁していましたが。今週になって法務省と検事総長が決め、内閣から異論がない旨の回答をえた、と答弁を修正。今日、その回答をしたのは内閣の誰なのかと問われた菅官房長官は。」

菅義偉（官房長官）「法務大臣から私に、その旨報告があり、異論がない旨回答をいたしております。総理もそうだったというふうに思います。」

ナレ「異論がないと回答したのは安倍総理と菅官房長官だったということです、さらに森大臣の説明によりますと、賭け麻雀の発覚直後事務次官が複数回に黒川氏に対し電話や面談で聴取、そして法務省として訓告相当とする調査結果を検事総長に伝えたということですがその過程をめぐって、今日。」 "

"鈴木宗男「検事総長に、法務省で決まったことを事務説明に言った方は誰なんですか。」

伊藤栄二（法務省官房長）「事務的に検察の方に送付をして検察の方で検討していただいた。」

鈴木宗男「あんた、コピーで持って行くわけでもなければですね、ファックスするわけでもないでしょう、それなりの立場の者が検事総長のところに報告に行くんじゃないんですか。誰が行ったのか、事務次官が行ったのか。」

伊藤栄二「個別具体的なプロセスでございますので、お答えは差し控えさせていただきますと存じます。」 "

ナレ「訓告相当とする法務省の判断を検事総長に説明したのは誰なのか、明確な答弁はありませんでした。さらに、法務省の判断を誰が内閣に伝えたのか、これについては昨日。」

"黒岩宇洋（立憲民主党衆院議員）「じゃあ法務省の誰が今言った、総理大臣と官房長官に直接説明したようですけども、誰から説明したんですか。」

森まさこ「事情の報告を行ったのは事務次官でございます。」 "

ナレ「安倍総理と菅官房長官に説明したのは事務次官だと明言した森大臣でしたが。」

"黒岩宇洋「事務次官が菅官房長官と安倍総理に直接報告したということでよろしいですね。」

西村明宏（官房副長官）「法務大臣から総理大臣、官房長官に報告がなされたということでございます。」

黒岩宇洋「違うじゃないですか。だから、森大臣、事務次官は誰に説明したんですか。」

森まさこ「個別の人事に関することであるためお答えを差し控えさせていただきます。」

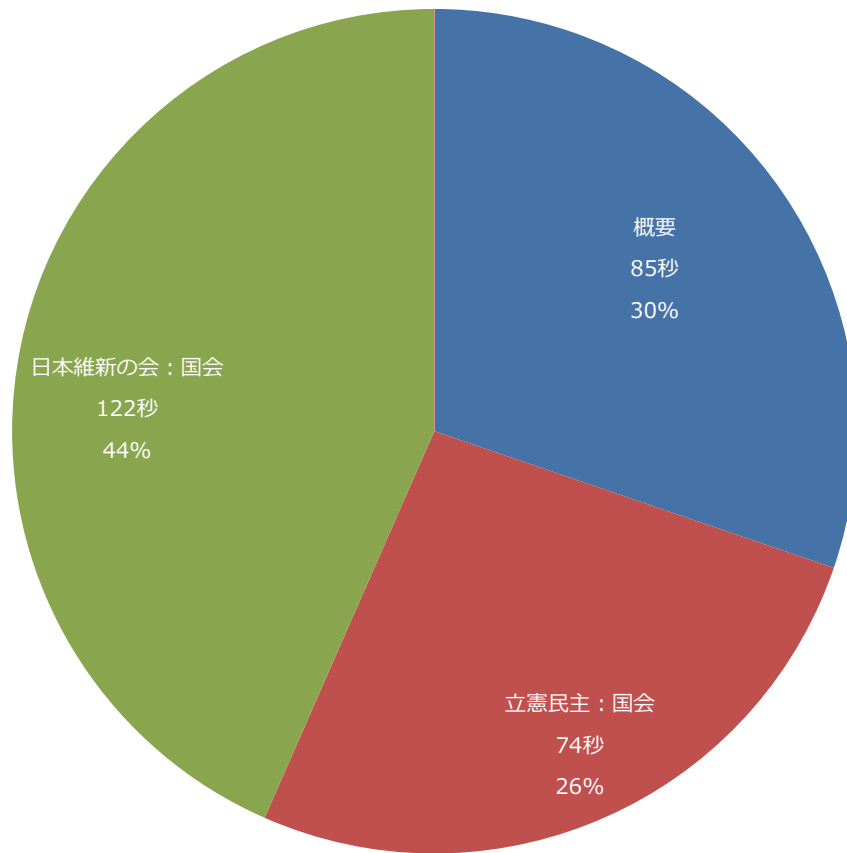
黒岩宇洋「ブラックボックスだ、これじゃ。大事な処分案件について我々は検証できないわけです。」 "

ナレ「処分のプロセスが不透明な中、今日、森大臣は。」

森まさこ「黒川氏は既に退職をしていることから人事上の処分は確定したと言えるものでございます。」

このトピックに当てられた時間は 281 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。





今回は珍しく日本維新の会の質疑が取り上げられていたが、いずれにしても他の放送日との合わせての判断が必要と考えられる。

・トランプ vs SNS：結論→特に問題なし

ナレーションによって「アメリカのホワイトハウスがトランプ大統領が SNS に関連した大統領令に 28 日にも署名すると明らかにしました。大統領は 26 日に新型コロナ対策として実施される大統領選の郵送投票について不正に繋がるなどとツイッターに投稿。これに対し、ツイッター社が事実確認をするよう注意を促すラベルを付け、根拠がないと指摘すると言論の自由の弾圧で許さないとツイッター上で反論していました、大統領令の詳細は明らかにしていませんが SNS の規制や何らかの対抗措置を取るとの見方も出ています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 55 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港問題：結論→特に問題なし

小川キャスターの「香港での反政府活動などを取り締まる国家安全法の制定が中国の全人代で採択されました。香港では一国二制度の危機だと反発が強まっています。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取

り上げられていた。

"ナレ「中国の国会に当たる全時代の最終日。」

議長「今から投票結果を発表します。」

ナレ「香港での反政府でもの取締を可能にする国家安全法を制定する方針が反対票わずか一票という圧倒的多数で採択されました。」

李克強首相「国家安全を維持する決定（国家安全法）も一国二制度を安定的かつ長期的に継続させるためだ。」

ナレ「国家安全法の草案によりますと、中国政府による治安維持のための機関を香港に設置できる、国家の安全に深刻な危害を及ぼす行為や外国勢力による干渉を処罰する、など香港の治安維持を巡って中国政府の関与が強まる内容となっています。香港で去年の6月からおよそ半年間に渡って続いた激しいでも、習近平指導部が今回、香港政府の頭越しに法律の制定を決めた背景には抗議活動がもはや香港政府の力では抑え込めなくなっているという強い危機感があります、今後は具体的な立法の作業に移り、中国共産党系のメディアは半年以内に制定するとの見通しを示しています。」 "

"周庭「恐怖感が今半端ないんですね、香港社会にあふれている恐怖感というものが。」

ナレ「民主派団体のメンバーである周庭さんはこれまで一国二制度のもとで保障されてきたネット上の言論の自由まで脅かされるのではないかと言います。」

周庭「SNS はやっぱりこれから中国にとって国家安全への脅威と見られる可能性とかもありますし、国家安全法ができれば香港はもう普通の中国の場所になってしまうという可能性が高いです。」 "

ナレ「中国が国家安全法の制定を強行すれば制裁措置もじさないと牽制してきたトランプ政権、ポンペオ国務長官は27日、もはや香港が高度な自治を維持しているとは誰も主張できないとの声明を出しました。日本政府は楊、秋葉外務事務次官が中国の孔鉉佑駐日大使を読んで、香港の情勢について深く憂慮していると伝えました。また、イギリス、オーストラリア、カナダ、アメリカの四カ国は先程、中国の決定は香港の人々の自由を脅かす、などと深い懸念を示す共同声明を出しました。」

"ナレ「香港で抗議活動を続ける人たちは国際社会に対して中国への圧力をさらに強めるよう求めています。」

黄之鋒（民主派団体リーダー）「国際社会にはもっと香港の状況を中止し、国家安全法に反対してほしい。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返され、

"小川彩佳「香港市民のみなさんにとって政府に対して声を上げるという日常的な当たり前の自由が奪われるということになりますけれども、星さん、これ去年から盛り上がっているとか広がっているデモが広がっている逃亡犯条例どころではない事態になってきているように感じるのですが。」

星浩「そうですね、はい、この国家安全法で私はその香港情勢というのは新しい局面に入ったと思います。中国羽、治安維持のための機関を香港に作ると思っていますので、これによってまあ事実上一国二制度否定されることになるということだと思いますね。中国が今回こういう強行措置に乗り出した背景にはコロナ危機で香港のデモもそんなに広がらないだろうと、それからまあ欧米各国も自分のところで手一杯ですからね、そんなにその反発の動きも見せないだろうとある意味ではたかをくくっていたわけですが実際には中国の思惑通りになるとは思えないんですね、香港の学生たちが怯んでいる様子はありませんし、アメリカの反発もどんどん強まっている、そこで日本なんですけれども今日は憂慮というのを表明したんですけれども、まああそれではちょっと弱いと思います、ここは中国に対して明確に自制を求めるという局面だと思います。」 "

## ・五輪開催判断：結論→特に問題なし

山本キャスターの「来年7月に開幕する予定の東京オリンピックの開催についてIOCのコーツ委員長が今年10月が判断の重要な時期という考えを示した、との報道を巡って、大会組織委員会の武藤敏郎事務総長が公式なものではない、とコメントしました。」というコメントを受けてナレーションによって「東京オリンピックの開催を巡ってはオーストラリアのメディアが今月下旬『IOCのコーツ委員長が今年10月が開催を判断する重要なタイミングになるとの考えを示した』と報じました。これについて大会組織委員会の武藤敏郎事務総長は今日午後、オンライン上での会見で、『コーツ委員長に直接確認したが大会の可否という言葉は全く使っていないということだった』などと説明しました。さらに、武藤事務総長は『どのような対策が必要なのか議論されるタイミングが10月ということのようだ』と話しました。ただ、これらのコーツ委員長の発言については個人的な見解であり公式のものではないとしています。来月10日にはIOCの理事会が予定されていて大会組織委員会はテレビ会議で参加しプレゼンを行う予定だということです。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は84秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年5月29日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕 山口芳裕（杏林大学教授、救急医療の専門家）</p>		
<p>検証テーマ：コロナ公文書、黒川氏の処分、賭け麻雀記者への新聞社の対応、トランプ大統領と SNS</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京で「ステップ2」移行発表</li> <li>・コロナ公文書</li> <li>・黒川氏の処分</li> <li>・賭け麻雀記者への新聞社の対応</li> <li>・トランプ大統領と SNS</li> <li>・コロナと失業者</li> <li>・コロナ患者の退院基準見直し</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・北九州市で今日も26人感染</li> <li>・コロナ禍で風俗業女性に偽造小切手を渡した男性を逮捕</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ公文書： <ul style="list-style-type: none"> <li>"小川キャスターの「第二波が迫っているということを考えますとやはり備えが重要になってきます、そのためには第一波への対応がどうだったのか、これを検証する必要があるが山本さん、ありますね。」とのコメントおよび山本キャスターの「はい、政府が様々なコロナ対策を決める際に判断の根拠としてきたのが専門家会議での議論ですが、その議事録が残されていないことが分かりました。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</li> <li>安倍総理「今般の事態を歴史的緊急事態とすることとしたい。適切にまた検証可能なように文書を作成保存をしているものと認識をしておりますが、今後さらなる徹底を支持することとしたい。」</li> <li>ナレ「二ヶ月前、新型コロナウイルスを歴史的緊急事態と初めて指定することとした安倍総理。公文書管理法に基づくもので、これにより政府が意思決定する会議の議事録の作成などが義務付けられるはずでした。ところが。」</li> <li>玉木雄一郎（国民民主党代表）『検証しようにもですね、文書がないのであれば、一体どこでどのように検証すればいいのでしょうか。』</li> <li>"ナレ「専門家会議の議事録が作成されていないということがわかったのです。」</li> <li>安倍総理「専門家の皆様からご判断、ご提言を頂き判断をしていきたいと思っております。」</li> <li>ナレ「緊急事態宣言の指定や解除など、政府が重要な制作決定の根拠としてきた専門家会議、新型コロナの第二波が懸念される中、議事録がなければ第一波の対応の検証はできるのでしょうか、コロナ対策の議事録を巡ってはこれまで。」</li> </ul> </li> </ul>		

安倍総理（2月27日）「臨時休業を行うよう、要請します。」

ナレ「2月、安倍総理が突然打ち出した全国一斉休校、この政治判断が決まったのは官邸の連絡会議でした、この議事録もなかったことが当時、問題になりました。批判を受け西村大臣は国会で。」

西村康稔（経済再生相）「連絡会議それから専門家会議、これはいずれもしっかりと記録を残したいと思っています。」

ナレ「しっかり記録を残したい、と述べていたのも関わらず、今回さらに専門家会議の議事録も作られていませんでした、なぜ議事録を残さないのか。今日、菅官房長官は。」

"菅義偉（官房長官）「行政文書の管理に関するガイドラインの上の、政策の決定または了解を行わない会議にこれ該当しており、」

ナレ「専門家会議は政策決定、または了解を行わない会議だとして発言者やその発言内容がわかる議事録ではなく議事概要を残すということです。」

枝野幸男（立憲民主党代表）「何が議論されてこういう結論になったのかということを知りたいと思っていますし、政府の対応は全く国民の立場に立っていないと言わざるを得ません。」

"ナレ「更に、専門家会議のメンバーからも。」

岡部信彦（川崎市健康安全研究所所長）「私達も誰がどういう発言をしたかというのはやっぱり責任を持ったほうがいいのでできればそういうような方がありがたい。」

ナレ「第二波への備えが問われる今、第一波の教訓は残されているのでしょうか。」

このトピックに当てられた時間は 220 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・黒川氏の処分：結論→特に問題なし

山本キャスターの「賭け麻雀で辞職した黒川検事長の処分が軽すぎるのではないかと、国会で追求されている問題、安倍総理は再調査には応じない考えを示しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

安倍総理「再調査は必要ないと考えています。」

ナレ「懲戒処分を受けず、訓告にとどまった黒川前検事長について野党側はかけ麻雀の常習性が疑われるとして再調査を求めましたが、安倍総理は応じない考えを表明、同じく賭け麻雀で停職の懲戒処分を受けた自衛隊員のケースと比べ、不当に軽いと追求に対しても各省庁が個別の事案に応じ、判断しているなどと従来の主張を繰り返しました。」

このトピックに当てられた時間は 49 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・賭け麻雀記者への新聞社の対応：結論→特に問題なし

ナレーションによって「その黒川前検事長とともに産経新聞の記者の自宅で賭け麻雀をしていた朝日新聞の元貴社の社員について朝日新聞社は停職一ヶ月の処分としたことを発表しました。極めて不適切な行為で報道の独立性や公正性に疑念を抱かせるものだった、としています。また、上司としての管理責任を問い、執行役員経営企画室長を譴責処分としました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 32 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

・トランプ大統領と SNS : 結論→特に問題なし

ナレーションによって「ツイッター社は29日トランプ大統領の投稿について暴力を賛美する内容が含まれるとして直接閲覧できない非表示の扱いにしました。問題とされたツイートでは白人の警察官に押さえつけられた黒人男性が死亡し、抗議デモが広がっていることについてトランプ氏は略奪が始まれば銃撃を始める、と書き込んでいました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は29秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし